



よき先輩に

▼ 12月22日(木) ●●

- 1 体育 ダンス鑑賞／銃剣道
ダンス嫌い
- 2～3 数学 整数
整数をこんなにつきつめて考えなくても良くないか。
- 4 日本史 鎌倉幕府の成立
F川先生、職務質問お疲れ様です
- 5 古典 門出／百人一首
私は「ひさかたの～」がお気に入りです。
- 6 保健 欲求と適応機制
お年玉たくさんもらえるといいな。疲れた！ やっと終わった！

○布団と冬休みが恋しすぎた。お年玉～♪
(*担任より=最近の高1生の一人からもらえるお年玉額はいくらぐらいなんぞんしょ？5000円くらいですか？ それとも、もう一桁増えますか？)

*

こうして去年は暮れたのであるが、さて新年のスタートはどうだったろう？ ポスト産業資本主義時代を生き抜く資本が獲得できたのであろうか？

我が家では、母が高齢になって大々的なお節料理の準備が大変になったこともあり、数年前から旅行先でお正月を迎えることにしている。今年はその母の希望もあって、お伊勢参りに出かけてきた。好天にも恵まれて、イイ年末・年始を過ごすことができた。

東京に帰ってきてからも、暖かい日が続いてのんびり過ごしていたのだが、7日には、一昨年春に卒業させた学年の生徒諸君が成

人式を迎える年ということで、第一回目の同期会が開催され、その会に招かれて出かけてきた。現役で大学に入学した諸君は大学2年生、一浪した諸君は1年生なので、まだまだ大学が楽しくて仕方ない時期、しかも、テーマが「成人式」ということだったこともあり、ドレスコードが設けられていて、男子も女子もみんなオシャレをしたり、しっかりメイクしたりして参会して（着物の女子もいた！）、とても面白くて楽しかった。会場も（普通なら渋谷辺りのパーティ会場を借りたりするのだろうが）さすが日比谷の卒業生だけあって、なんと「学士会館」である。しかも、まだ20歳になっていない人のことを配慮して、一切アルコール抜き。昨年来、アホな大学生の事件が続いたことを思うと、本当に立派な仕切りであった。

特にビックリしたのは、写真係りを昨年の春に卒業生した（つまり、主催している学年の一個下の学年の卒業生）が担当していたこと。チーフ会や部活の関係を通して頼んだのだそうだが、そうやって先輩のパーティーを後輩が支援している姿勢を見るにつけ、先輩・後輩の強い結びつきを実感し、（勉強だけでない）日比谷の素晴らしさを再確認させられた。また、そうやって後輩に頼むことができる、そして、そうやって後輩たちが協力してくれるような先輩たち、つまり、私たちが前に担任をした生徒諸君も、きっと素敵な先輩だったに違いないと、誇らしく感じられてうれしかった。今年は君たちも「先輩」になる。よき先輩となってほしいものだ。